

2021

第2回

SALON & ZOOM

講座

(公社)仙台ユネスコ協会ESD/SDGs委員会



新型コロナウイルス感染症対応として昨年度からスタートした「SALON & ZOOM講座」ですが、感染の終息が見えない中、2021年度も継続します。ZOOMによる講座によって、これまでの講座ではできなかった広がりや可能性も出てきました。2030年のゴールに向け、国内外のSDGs（持続可能な開発目標）達成のための活動が活発化しています。UNESCOが主導機関として推進しているESD（持続可能な開発のための教育）はSDGs達成の鍵と言われています。本当の豊かさとは？ 人間らしい生活とは？ 教育・科学・文化を通して人々の平和な生活を目指すUNESCO理念に沿った講座にご期待ください。

※ 参加は無料、どなたでも受講できますが、会場準備とZOOM招待のため、事前にお申し込みが必要です。6月15日(火)までお申し込みください。会場参加の可否、またはURLをお送りします。

申込み宛先 unesco1947@gmail.com



スペシャル講座【2回連続】

イタリアから見た 支倉常長

第1回 6月18日(金)

「慶長遣欧使節の歴史的意義～ヨーロッパで変わりつつあった世界観の中での慶長遣欧使節」

第2回 6月22日(火)

「イタリアにおける常長の足跡【使節団を見つめる目：使節団観察記録】から」

両日とも17:00～18:30

仙台市博物館に収蔵されている「慶長遣欧使節関係資料」はユネスコ記憶遺産に登録されています。仙台人にとって、支倉常長は特別な存在ですが、イタリアから見た常長はどんな存在なのでしょう？ 仙台では初となる「イタリア人研究者」による講演。初公開の資料も含め、資料映像やイタリアの風物写真を、PowerPointでたっぷり見せていただけるそうです。ご期待ください!!

講師プロフィール

Annibale Zambarbieri (アンニバレ・ザンバルビエーリ) 氏

元パヴィア大学キリスト教史教授。18世紀から20世紀のヨーロッパにおける、特に民衆のメンタリティーに与える影響としての文化と宗教の関係、16世紀から第二次世界大戦終結期に至る日本史における「他」の文化であったキリスト教との出会い、相互作用などの研究テーマに沿った著書、論文を多数発表。仙台市が発行した「仙台市史・特別編8 慶長遣欧使節」に、海外調査・翻訳・執筆協力者として関わった。

田中久仁子氏(通訳)

ベルガモ大学大学院日本語科契約教授。日々の日本語教授の他、日伊の架け橋として、高校生を対象とした日本語オンラインコンクール、ジャパンボウルイタリアなどを主催。「仙台市史」には、ご主人のザンバルビエーリ教授同様、関わった。コロナ禍のベルガモからの情報発信を機に、ご自身の担当する大学院生と仙台ユネスコ協会青年部とのZOOM交流を企画、ユース間の交流に発展させた。

現在、ご夫妻とご子息とでミラノ在住。

開催方法 SALON・ZOOM併用 イタリアからのZOOMによる講演になります。会場参加の方はプロジェクターによる映像をご覧ください。

開催日時 2021年6月18日(金) 22日(火) 17:00～18:30 2回連続開催

※必須ではありませんが、継続した内容になりますので連続参加をお勧めします。

開催場所 仙台ユネスコ協会 国分町3-1-1 仙台第一生命ビル5F

※ 体調に不安のある方のSALON参加はご遠慮ください。マスクの着用をお願いします。

※ お問合せ、当日の緊急連絡先は 022-224-2581 (仙台ユネスコ協会)